

## 【冒頭:改革への後押し】

●中東地域の国々は、石油収入への依存の緩和、拡大する若年層に対する十分な雇用機会の創出、女性参画の推進等、現在も抱えている、そして新たに生まれつつある課題を乗り越えようとしている。

●我々は、この取組を失敗させるわけにはいかない。

## 【①日本の明治維新以来の近代化成功の鍵:人材,教育への投資】

●日本の近代化の特徴は、人材への投資。1868年の明治維新から150年間で、日本は日本的価値を守りつつ、成功裡に工業化と近代化を達成。この成功の鍵は、階層的な統治制度を廃止して、政府に人材を登用する新たな能力本位の制度を導入したこと。最たる例が初代内閣総理大臣伊藤博文。

●別の成功要因は、明治維新以前に既にしっかりとした教育のインフラがあったこと。

## 【②日本の近代化の経験を活かし,中東諸国の改革努力に協力】

●(1)教育制度の改革援助のために中東地域諸国と協働。(例:エジプトに日本式教育(特別活動等)を導入し、これまでに35校が開校。)

●(2)職業訓練プログラムへの支援。(例:これまでにサウジで1万人以上の技術者等の訓練を支援。イラクにおける武器回収・職業訓練構想の推進。)

●(3)若年層のエンパワーメントへの協力を強化。(例:JICA開発大学院連携。(来年初め頃)中東地域から若いリーダーたちを日本へ招待。)

## 【結語】

●昨年のマナーマ対話では、「河野四箇条」に基づいて中東地域における安定と安全の達成を支援する確固たる決意を表明。

●「一身独立して一国独立す」。この言葉こそが私たちが共有したい明治維新の精神を体現している。